

## 合格体験記

### 大学・短期大学

#### 慶應義塾大学 文学部（一般入試）

誰でも慶應大学に合格することは可能です。自分も、偏差値 30 台からスタートしました。

高校生の大半はやりたいことなんてわかっていないと思います。自分もそうでした。確かに、才能や実績のある人、今まで何かに向けて努力してきた人、夢への強い想いのある人は、やりたいことが決まっているかもしれません。しかし、そういった人たちは少数派で、少なくとも自分はそういったものはありませんでした。ただ、なんとなく「教育に興味があるな」「外国の方に日本語を教えてみたいな」といったふわふわとした興味はありました。大学進学を目指すことに決めたのは、3年になる直前でした。理由は、とりあえず大学であれば、今はふわふわとしていても学びたいことが学べるし、夢が変わってもそれに対応できると考えたからです。

なぜ慶應を目指したかという点、YouTube で「慶應って簡単だよ」と言っている人がいたからです。その人は全く面識のない人でしたが、「じゃあ、自分もいける」と思いました。

悩んでいる人は崇高なことを考えてしまいがちで、「こういう理由があるからこう」ということを考えすぎてしまうのだと思います。最初の動機は、結構雑でも良いのではないのでしょうか。

大学受験は“下克上”が可能です。自分の周りには、模試で偏差値が低かったとか、王子総合は偏差値が 40 後半くらいだとか言って、あまり良い評価をしない人が周りに多くいました。それでも、それは「平均 (=50) よりちょっと下」くらいだということで、「行きたい」と思う大学は狙えます。例えば定期テストで平均点をちょっと下回ったり、模試の結果が悪かったりしても、絶望してしまわないでください。行きたいと思う大学の模試の結果が E 判定だったとしても、合格の可能性は「0」ではありません。今自分への評価が低い人も、諦めないでほしいです。一般入試はフェアな入試です。今やりたいことがなくて、進路に迷っている人は、仮に大学に決めたとしても、「大学の“ランク”に見合った自分のレベルは、このくらいだろう」という理由で、自分の進路を狭めないでほしいです。やればできるのに、やらずに諦めてしまう人たちにこそ、本気でやって自分の行きたい進路をつかみ取ってほしいです。大学に限らず、どの進路にも共通して言えることですが、高校 3 年の進路選択というのは、10 代ほぼ最後の大きなイベントです。そこで、最後までやりきれるかどうかが、将来の自分の自信に繋がっていくのではないのでしょうか。皆さんにはぜひ、「自分の行きたい進路」に行ってほしいと思っています。頑張ってください。

#### 東京学芸大学 B 類美術（学校型推薦 - 公募）

私は人よりも大学進学を決めるのが遅かった。本格的に対策を初めたのは、7 月だった。そのため、推薦と一般の勉強を同時に進めていった。高校では美術を多く専攻していたため、推薦が必要であったデッサン力を日頃から身につけることが出来た。また、今年から始まったデッサン教室のおかげで、自分の好きな時に石膏像を描くことが出来た。小論文は自分で題を考えたり、過去に出題された他の大学の題で書き、それを塾で添削してもらい何度もリライトした。正直、小論文に関しては、自信は全くなかった。しかし、練習したことが力となり、本番では今まで書いてきた中で一番のできと言って良いほど、上手く書くことが出来た。面接対策は、試験 4 週間前から始めた。校長先生や OCA の先生がマンツーマンで練習してくださった。また、アドバイスや悪い所を指摘してくれた。何度もやっているうちに、面接自体にも慣れ、緊張もしなくなっていた。そのため、本番では気楽にお話することができた。これらの事があり、努力が上手く実を結び結果的に推薦で合格することが出来た。

しかし、受験というものはつらいことがつきものだ。推薦の保険として、一般の勉強も兼ねていたため、全ての時間を勉強に費やしていた。正直なところ、毎日辛く死に物狂いであった。しかし、周りの人からのサポートを自分の目指しているものへの本気度が心の支えとなっていた。

この経験から、一人では人は頑張り切れないことを知った。また、人は死に物狂いに努力すれば何で

もできることを知った。

私が言えることとは、受かりたいなら努力すべしという事だ。中途半端な努力ではなく今まで自分が経験したことのないくらいの努力である。その努力が必ず自分の力となってくれるはずだ。

### 法政大学 経済学部（一般入試）

僕は法政大学経済学部国際経済学科に合格しました。一般受験だったので、今回は一般受験について伝えようと思います。

初めに志望校選びについてです。僕は硬式野球部に所属しており、8月の中旬に受験勉強を始め、他の受験生よりスタートが遅かったということもあり、受験勉強を始めた頃は今より低いレベルの大学を志望していました。しかし、勉強するにつれて上の大学を目指せると思い、11月頃に志望校を変更しました。本当はこの時期に志望校を上げることはあまりないのですが、基礎を固め続けてきたことで通用することがわかりました。このように「自分はこのくらいのレベルだからこの大学にしよう」という理由で大学を決めずに自分の行きたいところを選ぶことが一番大切です。やり続ければ必ず行きたいところに行けます。なので諦めずにやり続けてください。

次に勉強についてです。自分は上の大学だからと言って応用から始める人がいますが、勉強は必ず基礎から始めてください。受験は基礎が1番重要です。基礎というのは英語で言う単語や文法などのことですが、これを怠るとどこの大学のレベルにも通用しません。逆に基礎を固めれば高いレベルの大学にも合格できます。

一般受験でなくてもあきらめずにやるのが重要なので頑張ってください！！

### 帝京平成大学 健康メディカル学部（総合型）

私はAO入試で帝京平成大学健康メディカル学部救急救命士コースを受験し合格することができました。この学校を受験した理由としては、私は将来救急救命士になるために4年間をかけて、専門的なことを学んだり、公務員試験に向けてじっくりと対策をしていきたくったからです。またコロナの影響で就職も難しく、今後は公務員の倍率も上がると思ったので、自分の将来に必要な能力や力を身につけるという意味で4年生の大学へいくことは必要であると感じました。最初は専門学校への進学か公務員試験を受けようかと悩んでいましたが担任の先生と相談したり、コロナの間、自分と向き合ったことで、進路を決めることができました。そして、進路を決めたあとはとにかく学校のパンフレットを参考にするなど、学校の情報を集めて目標をより具体的なものにしてから勉強の計画を立てました。私の受験科目は、国数英化生から2科目選ぶ200点満点の筆記テストと5分間面接でした。勉強を始めたのは5月の中頃に受験日まで約半年ありました。私は国語と英語を受験するつもりで勉強していましたが、最初は全くできませんでした。面接もあまりできませんでした。ですが半年のうちで毎日勉強をし自分のわからないこと一つ一つを消していくことで自分の実力を伸ばして合格することができました。このことから伝えたいことが一つあります。進路を決めるときは大きな目標を立ててください。なんとなくではだめです。自分がどういった人生を送りたいかやどういった仕事がしたいかです。大きな目標を立てることで大学を決めやすくなります、そして受験勉強をするときは大きなモチベーションになります。私の場合は救急救命士という目標があり、絶対大学に受かって実現したいという気持ちがあったので地道に努力ができ、合格できたのだと思います。まだ目標がない人は、一週間本気で考えたり、自分で考えてみてください。目標を決めれば、あとは頑張るだけなので是非、自分のやりたいことを考えてみてください。

## 大妻女子大学 文学部（総合型選抜）

私はずっと入試方法に悩んでいた為、3年の7月に総合型選抜の自己推薦で受けることを決めました。

私が受けた大学の自己推薦の試験内容は、面接試験前の書類提出（キャリア計画書）と面接試験でした。私は試験に向けてキャリア計画書の添削を担当の先生や国語科の先生、塾の先生に10回程度していただきました。また、10人の先生に面接練習をしていただき、沢山のアドバイスもいただきました。面接練習は数をこなせばこなすほどリラックスすることができ、スムーズに答えることが出来るようになりました。本番は練習通りの質問が来ることは少なかったのですが、練習したことでどんな質問にも答えられるようになりました。例えば思いがけない質問がきても焦らないことが大切だと実際に面接試験を受けて実感しました。また、面接試験を受ける上で、面接官の先生方は大学のこと学科のことを知っているのを前提に質問をしてくるのでパンフレットやオープンキャンパスなどで細かいことも沢山調べて面接試験の挑むことが必要です。その為、オープンキャンパスには積極的に何度も参加し、個別相談や体験授業にも参加することで面接のときにアピールすることができます。どんな質問が来てもしっかり、自分の進みたい分野のニュースを確認するなど準備を沢山することもお勧めします。

私はもっと早く準備をしておけばよかったと思うことが多々ありました。後悔しないように、大学・受験方法の選択、準備を早く始めて達成感のある受験にしてください。頑張ってください、応援しています。

## 東京電機大学 理工学部 理学系（特別推薦）

私は、校友会卒推薦入試で受験しました。校友会推薦入試とは、東京電機大学を卒業した先生に推薦枠が与えられており、その枠を利用する入試形態です。この推薦を受けるためには、日々の生活態度、指定された二科目の履修、及び一定以上の全体の評価平均が必要となるため、一年次から良い成績を収めることを意識しておくことが大切です。推薦入試を受験する人は、まず管理職面接と推薦会議の校内選考が行われます。管理職面接とは、校長先生、副校長先生のどちらかとの面接で、高校生活などについて質問されます。この校内選考を通過したのち受験となります。私が受験する上で最も苦戦したことは、面接練習です。私は、話す内容をまとめる事が苦手だったため、管理職面接より前から面接練習を行いました。インターネット等を用いて、面接時によく問われる内容を集め、その一つ一つに自分なりの回答ができるようにしました。時には友人に協力を仰ぎ、言葉使いや、内容についてアドバイスをしてもらいました。また、入試には小論文の試験もあったため、過去に出題されたテーマで何度も練習を行いました。自分の考えを書いたものを先生にお願いして添削をして頂き自分の満足いく小論文に仕上げました。試験が近づくにつれ、面接、小論文を完璧にしても、不安が大きくなっていきました。

そんな時に周りにいた友人から、前向きな言葉をかけてもらい、精神面でも支えてもらいました。

最後に受験を通して、友人の大切さを実感しました。悩んだとき一人で考えるのではなく、友人と話すだけでも心が落ち着きます。早めの準備を心掛けると共に、互いに支え合い、寄り添うことが、合格へと繋がるのでしょうか。

## 埼玉女子短期大学（総合型推薦）

私が進学するにあたって1番苦労したのは進路選択です。私自身、3年生になっても自分のやりたいことが定まらず、いろいろな方向性でさまよいました。きっと1、2年生のみなさんの中にもどうしようって悩んでいる人が多くいると思います。そんな方に焦らなくて大丈夫だよってことを伝えたいです。私の場合はネットにある性格診断や適職診断などネット頼りにはなってしまうけれど自分に何が向いているのか知りたくてそんな方法で進路について考えました。他の方法としてはノートに書くことです。コロナの自粛期間に担任の先生が進路について考える進路ノートを作成しようとクラスの中で決めました。私はその進路ノートが今の進路や自分の将来と向き合うきっかけになり、有意義な自粛期間を過ごすことができました。そのノートにはいきなり職業をしばるのではなく、自分の好きなことや将来どんな風に働きたいかどんな大人になりたいかなど大まかな部分から考えて書くようにしました。ノート

に書くことで後から見返すこともできるのでとても良い方法だと思います。このノートのおかげで私は将来何か1つのものを1から造りあげたい、人と関わる中で喜ぶ笑顔が見たいと思い企画職を目指そうと決めました。ふとした時にやりたいことが見つかるはずです。ゆっくり焦らずに頑張ってください。受験の時の経験としてはいろんな先生にみてもらうことに尽きると思います。私は面接とプレゼンテーションがあったのですが、とにかくいろんな先生に声をかけてアポを取って聞いてもらいたくさんのアドバイスをもらいました。先生によっては見方もアドバイスも違いますがそれこそが一般人から見た意見です。そのアドバイスを自分なりに取り入れてみてください。第1志望への合格を目指して頑張ってください。

## 専門学校

### 都立板橋看護専門学校 看護学科 (学校型推薦 - 公募)

私は、母親が妊娠をして一緒に病院へ行ったときに見た助産師や看護師の姿に憧れて、看護を学ぶ道を選びました。大学ではなく専門学校を選んだ理由は、実習が多いことと、早く働きたいと思ったことからです。また、都立の学校は学費が安く、実習施設がいくつも確保されていて、設備が整っているため非常にオススメです。

私は推薦入試で合格しました。受験内容は面接と小論文です。小論文の練習は夏休みに入る少し前から始めました。担任の先生が国語科の先生だったので、自分で書いた小論文を添削してもらって練習していました。手に入った受験校の過去問全ての小論文を書きました。小論は、要約する問題が出ると知っていたので、とにかく速く要約できるように時間を測りながら練習していました。面接の練習は、主にOCAの先生としていました。3年生の夏休みにオープンキャンパスに行ったときに、在校生の方に面接でどんなことを聞かれたのかとか、雰囲気などについて聞きました。その情報をもとに、聞かれそうな質問を全てノートに書きだして、その質問に対する回答を書いて対策をしていました。看護の専門学校は、学校の志望理由より看護師の志望理由を深く聞かれるので、考えをしっかりと固めておいたほうが良いと思います。

私が受験した学校は、入るのが少し難しいと言われていたので、受験前に気持ちが沈んでしまったり、イライラしたりしていました。そうなったら誰かに全て吐き出してください。私は母親に吐き出しました。スッキリして、受かったときを想像して頑張ろうと思えるようになると思います。受験の時期に課題研究とか定期考査とかが重なって上手くいかなくなってイライラしてしまうことがあるので、課題研究は早めに終わらせて下さい。Fight!!

### 板橋中央看護専門学校 (学校型推薦 - 公募)

私は小学生の頃から看護師を目指していました。なので、私は1年生の時の時間を使い調べるようになりました。なるべく多くの学校を調べることで自分にあった学校を見つけやすくなると思います。2年生の冬頃には専門学校を絞り、学校訪問を何度かしました。また、その頃に看護体験をしました。看護の専門学校や大学に行く上で本当に看護師は実際にはどんな仕事をするのかを看護体験で知ることができました。看護師を目指している人は一度は看護体験をすると良いと思います。看護体験をし、より一層看護師になりたいという思いが強くなり、専門学校の受験内容に沿って勉強を始めました。受験内容は一般教養(英・数・国・理・社)、小論文、面接でした。筆記の勉強に関してはどれだけ早く始める事ができるのか肝になってくると思います。受験日が近づいてくるたびに面接の事で頭がいっぱいになりがちなのでどれだけ頭に入れる事ができるのかが大事です。また、勉強をしている上でわからない事があれば学校の先生や友達に聞くことが大事なので積極的に勉強していくといいです。小論文も同じです。先生に沢山添削してもらい書き方覚えると良いと思います。勉強も小論文も自分のモノにしていけると合格への第一歩だと思います。面接の練習はもちろん大事ですがどんなに練習していても本番になると頭が真っ白になってしまうので自分の素直な気持ちを伝えると良いです。

以上の事を踏まえて受験に挑んでください。

### 道灌山学園保育福祉専門学校 幼稚園教員保育士養成科（学校推薦型 - 公募）

私がこの進路を決めたのは、1年生の秋頃でした。1年次で履修した産業社会と人間の授業内で、進路について考えていくうちに、子どもに関わる仕事に就きたいと思うようになり、保育について学べる学校に進学することを決めました。私は、早く現場に出て働きたいと思っていたため、保育の専門学校を中心に調べたり部活動の顧問の先生に相談し教えていただいたりした中から、何校か説明会に行き、学校の雰囲気や取得できる資格、実習の充実具合などを比べてこの学校に決めました。

公募推薦では、国語と音楽の筆記試験があったため、3年の春頃から、漢字やことわざ、四字熟語、楽典の基礎を中心に勉強し始めました。保育士になるのに必要なピアノも初心者だったため、夏休みは毎日ピアノの練習と勉強を欠かさずに行いました。早いうちから勉強を始めたことで、自信につながり、試験当日もリラックスして取り組むことができました。面接は、他の学校とは違い、ブース形式で2回行ったため、あまり緊張せずに答えることができました。しかし、何を聞かれるか分からないため、自分の考えをしっかりと整理し、どんな形式でも答えられるように準備しておくことが大切だと思います。早い時期に志望校を決めておけば、やるべきことや目標も明確になります。周りの人に相談しながら実際に学校へ行き、いろいろな学校を比べて、後悔しないような学校選びをしてください。

## 就職

### 株式会社ワコール

私は大学や専門学校に進学するのではなく就職を選びました。理由は今のうちから働けるのであれば働き、社会人としての自覚を持ちたいと思ったからです。就職したいといっても、幅広い職の中から自分に合った会社を見つけるのにたくさん悩み、いろいろな会社を見比べました。私は人とコミュニケーションをとることが好きだったので、この好きなこと、得意なことを活かせる職は販売職だと思い、志望先を決めました。

主な就職試験は面接と簡単な数式、適性検査でした。王総では面接に備え、内容の濃い練習を多く設けてくれるので、しっかりと受け答えできるようにすれば本番もうまくできると思います。面接では、「志望動機は?」「強みは?」など様々なことが質問されます。面接官が面接で確認したいポイントは、「自社での活躍が期待できる人物なのか」と「自社で長く働き続けてくれる人物なのか」。この2点を確認することが面接が行われている理由であり、すべての問いかけに共通していると先生方から教わりました。このことを理解し、すべての質問に対して説得力のある回答を出すことが出来れば面接の成功率もあがると思います。

例えば、志望動機に関する質問で高評価を得るためには「他社ではなく自社を選んだ理由」を明確に示すことが求められます。その理由が明確であるほど「この人なら自社での活躍が期待できる人物」などイメージがしやすくなるからです。面接官の質問の意図を理解し、適切な回答ができるように前々から準備をしておくとういいます。

### 株式会社 JR 東日本ステーションサービス

私は株式会社 JR 東日本ステーションサービスから内定を頂きました。私は子どもが好きで、子どもと接することのできる仕事がしたいと考えていました。3年になり、いざ求人票や職業を調べたりするとなかなか自分の思ったような職業は見つかりませんでした。家族や、進路担当の先生からのアドバイスから株式会社 JR 東日本ステーションサービスに決めました。

高校生活では、頑張る力を得ることができました。様々な選択授業で Excel や Word を使ったり、初めて知るアプリケーションもありました。はじめてのうちは慣れないことが多く大変なこともありましたが、授業をしっかりと聞き、検定に合格できるほど、能力を身につけることができました。この力は就職してから活かしていきたいです。

就職活動に活かした準備は、面接練習です。学年全体で行った集団面接練習は、とても緊張しましたが、他の人の様子や他の人へのアドバイスを自分にも吸収することのできる良い機会でした。個人面接や集

面接の練習を何度かしましたが、毎度緊張しました。ですが回数を重ねれば重ねるほど、どんどん上手に話せるようになりました。

就職活動をするにあたって、しっかりと対策をすることが大切だと思います。試験内容が、SPI と作文、面接だったので、SPI の勉強と面接の練習をたくさんしました。SPI の例題をインターネットで調べて雰囲気をつかみ、SPI 問題のアプリをスマホに入れ、何度も解いていました。作文では字を丁寧に書くことを心がけていました。面接は何度も練習し、聞かれそうなことや自分が伝えたいこと、出来事一つ一つにエピソードを考えておくなど先生たちのアドバイスのおかげで本番もうまく話すことができました。

私は選考日前に山手線の駅を全部暗記しました。本番前は心が緊張していると思うので、自信につながるようなことをなんでも良いのでした方がリラックスできると思います。

悔いのないよう頑張ってください。

### 株式会社 郵便局物販サービス

私は(株)郵便局物販サービスに内定を頂きました。元々は、専門学校への進学を考えていましたが、産業社会と人間の授業を通して就職に変更しました。このことから、産業社会と人間や進路に関する授業はしっかり取り組むべきだと思います。

ここからは、私の経験をもとにアドバイスをお伝えします。

- 就職するにあたって聞きたかったこと

進路の講話では大学や専門に関する内容が多かったので、就職についてもっと詳しく知る機会が欲しかったと思っています。

- 進路の相談相手

同じ就職を目指す友人や就職担当の先生はもちろんですが、一般企業に勤めたことがある先生にも相談してみることをおすすめします。私の場合、その方が担任の先生でしたのでとても心強かったです。

- いつから準備をしたか

本格的な面接練習等は、学校での指導後からでも良いと思います。私は先生方との面接練習で指摘して頂いた点を踏まえて、家でも何回も練習しました。

- やっておいた方が良いこと (3つ)

一つ目、どの進路でも言えますが面接の受け答えは、文章で全て暗記するのではなく単語で覚えて自分の言葉で伝えられるようにした方が良いです。

二つ目、部活動を辞めてしまった場合はその代わりになるもの(私の場合、勉強や生徒会)をしっかりやった方が良いです。部活動については聞かれる事が多いです。

三つ目、日ごろから幅広い年齢の方と話をした方が良いです。一見関係ないかと思いますが面接時に意外と役に立ちます。

これを読んで少しでも不安がなくなれば良いなと思います。頑張ってください。応援しています。

### 株式会社 白惣

私は、株式会社白惣へ就職が内定しました。私が就職を目指す皆さんに伝えたいことが4つあります。

1つ目は自分がやりたいことを明確にすることです。自分が仕事をするにあたって、どのような仕事をしたのか。どのような仕事をさけるべきかを自分の中で決めておくが良いです。もしこの時点で答えが出せないなら進学を考えても良いかもしれません。

2つ目は、経験を積んでおくことです。経験を積むといっても仕事の経験ではありません。ここでいう

経験は部活や習い事、ボランティアなどの面接の時に話題になることです。私はずっと運動部として活動をしていたので、部活の話を中心に何を学んだか、培ったかという話を組み立てました。この経験は面接の時に使うと思うので、企業さんから見てその経験をどう見るかまで考えられると良いかもしれません。

3つ目は、人前で話すことに慣れることです。人前で話すことが得意な人はそう多くはないと思います。今の内から、人前で話すことには慣れておくと思いいます。

4つ目は、交通経路や方法について事前に調べておくことです。私のように地方へ行く際に、新幹線を使う人がいるかもしれません。私は新幹線に全然乗ったことがありませんでした。奈良に面接に行くときに初めて乗車券と特急券の2枚が必要という事を調べて知りました。このパターンと違い、この2枚がまとまって1枚で出てくる販売機があるので、新幹線のチケットは良く見て確認しましょう。

私からは以上のことに気をつけると良いと思います。もしここまで読んでくれた人がいたらうれしいです。あとはあなたの頑張り次第です。自信を持って頑張ってください！

## 公務員

### 警視庁警察官

私がこの進路を決めたのは1年の秋頃でした。進路を決めていく中で、早いうちから現場に立ち、より多くの経験を積むことのほうが自分自身にとって良いのではないかという考えに至り、この進路を志望するようになりました。公務員試験は、試験科目も多く、範囲も広いので、計画的な対策が必要です。

最初は、学校で配布されていた公務員試験対策の専門学校の問題集を進めました。また、専門学校で実施されている無料の試験対策講習会にも参加し、少しずつ勉強を進めていきました。

本格的な勉強を始めたのは、2年の冬からです。この頃には、上記の勉強に加えて自分で問題集を揃え、苦手な分野を含めた総合的な教養試験対策の勉強を始めました。公務員試験の教養試験は出題範囲が広いので、自分自身の得意な分野と苦手な分野を見極め、得意な分野はしっかりと得点源になるようにし、苦手な分野はいかにカバーできるかがポイントになってきます。また、採用試験の過去問題を解くことも大切です。なぜなら、その職種の試験問題の出題傾向や難易度を知ることができるからです。現に、私が受けた警視庁の採用試験の問題に、以前過去問として解いた内容とほぼ同じものが出題されました。

採用試験の1次試験では、教養試験の他にも様々な検査や試験が実施されます。論作文試験は、受ける職種によって試験時間と指定文字数が大きく異なりますが、論作文の課題内容は毎年ほぼ同じようなものです。私は先生方に何度も作文を提出し、添削していただきました。その甲斐あって、論作文での自分の書き方を掴むことができ、本番でも楽に書くことができました。国語試験の対策では、漢字検定2級程度の漢字の読み書きが出ると聞いていたので、普段学校で使っているワークなどを活用しました。

2次試験も多くの検査や試験があります。私はその中でも、特に面接試験に重点を置き、練習を繰り返して行いました。1次試験が終わってから、まず進路資料室にある先輩方の受験報告書を参考に面接で聞かれることをまとめました。そして、先生方に協力していただき、何度も面接練習を行いました。そのおかげで、本番でも緊張しすぎることなく、スムーズに受け答えすることができました。

公務員試験の多くは夏休み後すぐに始まるので、専門学校で実施されている講習会や模試などを活用し、早めに勉強を始めておくことが大切です。また、警視庁は警察学校のオープンキャンパスや採用セミナーなどイベントが多く開催されているので、予定が合うときは足を運ぶことも良いと思います。しっかり計画を立てて、目標に向かって頑張ってください。